

# 生駒駅前 にぎわいづくり ワークショップニュース

## 第1回

平成25年10月6日

生駒市 開発部 地域整備課

環境経済部 経済振興課

生駒駅前北口の再開発事業によって生まれる広場「ベルステージ」を使って、まちなぎわいを生み出していく方法話し合う、ワークショップが始まりました！

第1回目は、市民、商業者、大学生など、18人の参加がありました。建設中のベルステージや駅周辺の商店街を見学した後、自己紹介などを交えながら、早速ベルステージの活用方法についてアイデアを話し合いました。

### ワークショップ開催のあいさつ、趣旨説明

はじめに、地域整備課の北田課長からあいさつがありました。

【北田課長からあいさつ】

- ・生駒駅前の再開発事業を行っており、生駒の玄関口として、空間・ハード面の環境が整います。ベルステージをきっかけとしてまちの活性化につなげていくためには、ソフト面の取組も非常に重要で、ハード/ソフトの両面から取り組んでいく必要があります。また、駅の南北が一体的ににぎわうようになることも大切です。
- ・今回のワークショップには、市民、商業者、商工会議所、奈良女子大学・帝塚山大学など、多数の方に参加いただくことができました。これからの話し合いに期待したいと思います。

次に、地域整備課から、今回のワークショップの開催趣旨について説明があり、経済振興課からこれまでの駅周辺でのにぎわいづくりの取組について説明がありました。

### ミニ講演「市民活動イベントとまちづくり」

大阪市立大学 嘉名 光市 准教授

ワークショップのコーディネーターを務めていただく嘉名光市先生から、ワークショップを始めるに当たってのお話がありました。



《ワークショップについて》

- ・生駒駅前のベルステージという広場を、どんな風につくるか一緒に考えていきましょう、というワークショップです。みなさんの考え方は一人ひとり違うと思うので、相手の考え方を尊重しながら盛り上げて行きたいと思います。

《事例①：タイムズスクエア（ニューヨーク）》

- ・有名な広場・公園の事例では、ニューヨークのタイムズスクエアがあります。道路から車を締め出して、人のための空間にしました。地元の人が組織をつくり、地域のために管理しています。

《事例②：富山グランドプラザ（富山市）》

- ・日本の事例では、富山グランドプラザで、新しい広場づくりが行われています。再開発事業でできた公園で、雪が多い地域なので透明の屋根をかけています。年間 180 日くらいはイベントや行事が催されていて「あそこに行けば何かやっている」状態が作りだされています。広場には仕掛けがあって、床がせり上がって舞台が出てきたり、花壇は移動させることができたりと、空間の使い方が柔軟になるように工夫されています。運営者がすべてのイベントを自分でするというよりは、色々な企画を持ち込んでもらって、やりたい人ができるようになっているのがポイントです。

《事例③：丸亀町商店街（高松市）》

- ・高松の丸亀町商店街は、自転車の乗り入れが禁止されています。安全で安心な歩行者の空間をつくるため、協議会が新しく設置され、対策が行われています。このような、環境づくりの取組も展開されています。

《アイデア次第で、難しいことも可能になっていきます》

- ・活動に必要なのが、お金ですね。富山の事例でおもしろいのが、企画を持っていてイベントをやりたい人と、お金を出してもいいというスポンサーを、マッチングする仕組みです。つまり、企画がよければ、お金はどこから出してもらいながら実現できるかもしれません。

《ベルステージでの活動アイデアを出していきましょう》

- ・さて、ベルステージの場合は、どんな広場になっていくのでしょうか。まち全体の活性化につながるように、周辺も含めて回遊するような仕掛けをしたり、まちの情報を発信したりと、色々なことが考えられそうです。
- ・色々なアイデアを出し合いながら、ベルステージの使い方を考えていきましょう。

## 現地見学

市役所一階にある模型で、ベルステージを含む再開発事業の詳しい説明を受けた後、建設現場の見学を行いました。現場に隣接する近鉄百貨店の上から工事の様子を見た後、現場の正面のデッキから工事中のベルステージを見ました。大きさや広さ、駅との位置関係などを確認しました。また、駅周辺の商店街にも足をはこび、商業者の方から独自の取り組みについて、話を伺いました。



## 意見交換

自己紹介をした後、現地見学の振り返りを行いながら、駅周辺やベルステージを活用してやってみたいことを話し合いました。

1班：石川さん、片山さん、寺地さん（事務局）黒松

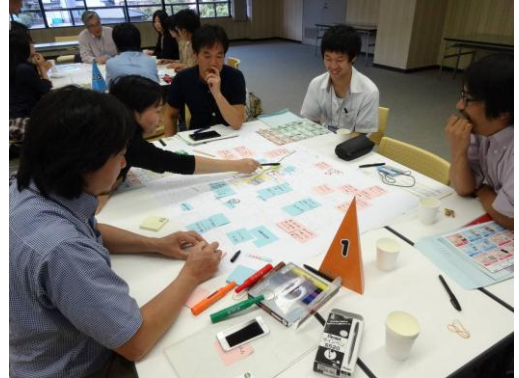
ベルステージで行っていく活動のアイデアを出し合い、朝/昼/夜の時間帯に分けて整理しました。

【朝のイメージ】

- 農家の人たちが朝市を開いている
- パンを買えるところがある
- モーニングコーヒーを飲めるところがある

【昼のイメージ】

- お母さんたちが弁当を食べることができる場所
- 築山で子どもが遊んでいる
- 待ち合わせて打ち合わせできる場所
- 学生のバンドや演劇のためのステージ
- 定期的に音楽をやっている（高槻 JAZZ ストリートのようなイメージ）



【夜のイメージ】

- 駅から北に向かって歩いて帰る人が立ち寄れる店
- 音楽とお酒を楽しめる場所
- 学生も楽しめる居酒屋

【その他】

- 生駒駅で降りてもらうために  
昔は生駒で途中下車できたが、今はできなくなったので降りる人が少なくなった。  
単に乗換駅になっていて、わざわざ降りる動機づけがない。  
→駅に着いて音楽が聞こえてくると降りてみたい気持ちになる  
スターバックスがあるだけで違う  
図書室も夜間に利用できるとよい（少なくとも21時まで）
- 音楽をテーマにする  
小中学校の吹奏楽のレベルが高いので、音楽をテーマにするのは必須  
非日常を演出するためにはステージが欲しい

2班：伊藤さん、阪口さん、杉岡さん、松下さん（事務局）山方、有山

参加者が商業者、市民、大学生と多様な2班では、それぞれの視点から、ベルステージへの期待や使われ方のアイデアを出し共有しました。

【広場の使われ方】

- ほっとくつろげる空間  
特に用事がなくても、ぼーっとできるような、居心地のいい場所になってほしい。ゆったりできるカフェやベンチなど。
- 若者も集える空間



音楽の演奏など、若者も何かの活動をできる空間になってほしい。

#### 【やってみたいこと】

- 創意工夫を盛り込んだ情報の発信  
モノを売るというより、コトの楽しい情報を発信。最近のお客さんは、物にお金を払わなくなってきた。花を買うというよりは、ガーデニングのやり方を学んで、楽しくやってみる、という感じ。  
駅南北のお店でやっている、「まちゼミ」も、コトの情報発信。  
広場でも、コトの情報を発信していくのがいいと思う。
- ここでしかできないこと  
通勤・通学する人が朝や夕方通る場所。  
「早朝〇〇セミナー」や、夕方にバーを開くなど、気軽に集まれるようにしてはどうか。
- お金をかけないコンサートや展示会  
警察や消防署にはブラスバンドがあり、また鑑識の技術や消防車なども興味深い。お金もかからないと思うので、広場を大いに使ってもらいたい。

#### 【考えていくときのポイント】

- 使いやすい仕組み  
使用料やルールなどは、なるべく使い手のことを考えて、気軽に使えるように設定する方がいい。

### 3班：西島さん、尾山さん、堀田さん、東さん、筋原さん（事務局）北田

初回の今回は、参加者の自己紹介と、ワークショップへの意気込みなどについて話し合いました。

#### 【駅周辺の感想】

- 駅周辺はコンパクトなまちになっている。
- 日曜日なのに少し店舗が閉まっている。
- ベルステージだけではまちは良くならないので全体で考えることができれば。
- 日常的なにぎわいがあれば良い。
- 生駒駅周辺は緑が少ない。
- 商店街は良い品物を扱っている店舗がたくさんある。
- 若者に向けたまちづくりが必要だろう。
- 歩いている中でイベントの情報などを見ることができるようにすることもあっていいのではないか。



#### 【ベルステージへの思い】

- ちょっとしたイベントに市民が使える手ごろな大きさの広場であると感じた。
- 演奏を聴きながらお茶の飲める CAFE になればいい。
- 生駒市は吹奏楽が盛んだからそれを活かしたい。
- 屋外で休憩でき憩えるところになればいい。
- 生駒市の資源、いいところを見てもらえる場所になればいい。
- 日陰になる部分も必要だろう。

- ・紙芝居や読み聞かせを屋外でできればよい。
- ・たけまるホールと連携が必要。
- ・盆踊りもできれば面白い。

#### 4班：井上さん、大宅さん、高橋さん、高原さん（事務局）稲葉

現地を歩いた感想や、今後ベルステージで展開していく活動への期待について、意見を出し合いました。

##### 【商業施設について】

- ・商店街より百貨店のほうが行きやすい。
- ・個人的に思う商店街の良さは、食べ歩きができたるところ。
- ・駅南の商店街とベルステージの辺りでは少し距離があると感じた。
- ・スーパー顔負けでにぎわう商店もある。
- ・びっくり通り商店街の食べ歩きができる店がよい。
- ・音楽を楽しみながら食事ができるのはよい。
- ・中村製菓では、ぶどうの大福をつくって売っている。



##### 【ベルステージとその周辺について】

- ・駅から思ったより近いと感じた。
- ・デッキがきれい。北側は、まちなみもきれいだと感じた。
- ・思ったよりスペースがあると感じた。
- ・マンションが意外と大きく感じた。
- ・イベントなどが増えていけば、回遊が生まれると思う。
- ・コメダコーヒーのようなふらっと立ち寄れるカフェがあると良いのでは。立ち寄りやすい。
- ・アントレ前の広場は、友達と待ち合わせに使ったりする。
- ・座れる場所が案外ないと思った。

##### 【ベルステージへの期待】

- ・ベルステージだけが賑わうのではなく、まち全体の賑わいにつながっていけば。
- ・自分たちでつくるにぎわいづくりも考えていきたい。
- ・例えば、音楽での盛り上げもできるとよい。
- ・音楽のライブなどは、機材が持ち込めるようにしてもらえるとやりたい人が集まると思う。
- ・駅前でライブは許可が難しい場合もある。

## おわりに

嘉名先生からコメントがありました。

- フリーディスカッションだったが、グループごとに色々な内容について話し合われていた。
- 活動のアイデアについては今後、季節ごと、時間帯ごとに分けて考えていくと分かりやすいのではないか。
- また具体的にアイデアを実現していくとなれば、必要な設備についてのことや、事務局の役割についても検討することになる。

**次回の開催は、10月16日(水)19時からです。**

### ●事務局・問い合わせ先

生駒市 開発部地域整備課

〒630-0288 生駒市東新町8番38号

Tel : 0743-74-1111 Fax : 0743-74-1221